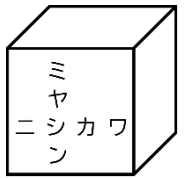


道の駅にしかわ に「宮城@DATE なセレクション」が オープンしました

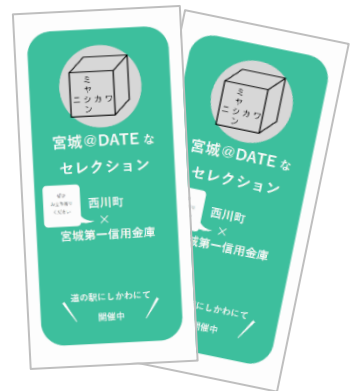


西川町と宮城第一信用金庫は仙山交流を活かし、地域特産品等物販の相互支援など双方の地域課題解決に取り組むため令和4年12月23日包括連携協定を結びました。その取り組み第一弾として金庫の取引先5社の商品が道の駅にしかわに「宮城@DATE なセレクション」として常設されました。宮城県の特産や県民の思いが込められた商品を山形で販売することで販路拡大や地域の垣根を越えた交流の創出を後押しします。

令和5年4月20日（木）道の駅にしかわにてオープニングセレモニーが開催され、当金庫理事長のほか、西川町菅野大志町長やブースの出展者、地元の方など約30人が集まり、オープンを祝いました。



また、4月22日（土）には大試食販売会も開催され、風の強い一日でしたが町内外からたくさんのお客さまがいらっしゃいました。「西川町に住んでいるが最近町が目まぐるしく変化していて驚いている。宮城の美味しいものが近所で買えるようになって嬉しい。孫が来た時にごちそうしたい」といった声や「東京から1週間をかけて東北を旅行している。今回は宮城県に行く予定がなかったので思いがけず宮城県のおみやげが買えてうれしい」「山菜を採りに西川町へ来た。試食の牛たんやビールも美味しかったのでお土産に買った」などの声が聞かれました。



西川町菅野町長からは「宮城県から人を呼びたいというのもあるし、逆に西川町の物を仙台で売りたい、食べていただきたいというのこれから計画しているので、関係人口が事業者同士で繋がっていけば大きな流れになるのではないか」というお話もいただきました。今後は県という境界線を取り払い、お互いのイイところをPRしながらそれぞれの地域に課せられた課題を協力して解決していきます。

これから夏スキー本番の季節です！ぜひ、西川町へ訪れた際は「道の駅にしかわ」にお立ち寄りください。

